

2024年度 スポーツバイオメカニクス研究室 論文発表会

- ◆ 日 時：2025年2月11日（火）12:30～
- ◆ 場 所：5C316教室
- ◆ 発表形式：学群3年生（三卒論） 発表 7分, 質疑3分
 学群4年生（卒業論文） 発表10分, 質疑5分
 博士前期課程（修士論文） 発表15分, 質疑5分
 博士後期課程（博士論文） 発表15分, 質疑5分



No.	Time	Name	Title
Session I : 三卒論の部			座長：MC1 大坂
1	12:30	岡本 桜介	「カエルの足打ち」におけるトレーニング効果のバイオメカニクスの分析
2	12:41	加藤 大喜	野球のバッティングにおいて得意な人と不得意な人の差のバイオメカニクスの分析
3	12:52	武智 泰暁	投球時の腕部の動作がスライダーのスピンの変化量に与える影響
4	13:03	鏑 颯人	3000m障害における水濠障害の動作のバイオメカニクスの分析 —パフォーマンスに寄与する動作要因の解明—
5	13:14	中本 唯愛	バレーボールスパイク助走の脚の着き方とジャンプ高の関係
6	13:25	樋口 彪斗	柔道競技における「内股」が得意な選手とそうでない選手の 軸足の力と重心の変化（崩し）の違い
13:35 ~ 13:45 休憩（10 min）			
Session II : 卒論の部			座長：MC1 品部
7	13:45	佐藤 浩太郎	野球の投動作における回転数向上を目的とした上肢動作の分析
8	14:01	塩田 智也	ステップの有無が捕手の二塁送球動作に及ぼす影響に関する バイオメカニクスの研究
9	14:17	熊崎 風我	体幹の矢状面回転がスプリントスタートの方向制御に及ぼす影響
10	14:33	齋藤 陸	ハムストリングスの肉離れに関連する 疾走動作の遊脚期の運動学的・筋制御学的特徴
11	14:49	小田切 大也	野球打撃動作にバットの慣性特性が及ぼす影響
12	15:05	奥山 晴香	長期的なクラシックバレエ経験が脊柱姿勢に及ぼす影響
13	15:21	鈴木 香那子	カーリングのデリバリーに関するバイオメカニクスの研究
15:36~15:46 休憩（10 min）			
Session III : 修論の部			座長：MC1 保母
14	15:46	四谷 元春	ラグビーの長距離キックに関するバイオメカニクスの研究 ～プレースキックとパントキックの違いに着目して～
15	16:07	橋本 昇悟	Distal Muscularity-Specific High Relevance to Performance in the Upper Limb of Shot Putters
Session IV : 博論の部			座長：MC1 保母
16	16:27	広野 泰子	陸上競技場の曲走路疾走から直走路疾走への 移行のための動作を決定するバイオメカニクスの要因
17	16:48	張 思超	Influences of Different Impact Heights on Speed and Accuracy during Two-Handed Backhand Tennis Strokes (オンライン)
17:30頃 終了予定			